

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2018.09.No253

9月号

目次

北海道の地震被害想定に対応した応急危険度震前判定計画の作成	1
実行委員会報告	3
特集 北海道建築士会 会員作品紹介 2018	4
Coffee Break	6
道士会の動き	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>

北海道の地震被害想定に対応した 応急危険度震前判定計画の作成



(地独) 北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所
地域研究部環境防災グループ 研究主幹 戸松 誠

北海道では地震被害に対する減災目標を検討するため、平成24年度より被害想定調査を進めてきました。この被害想定調査は、道からの委託により道総研が実施してきたもので、今般全道分の成果を取りまとめることができたことから、平成30年2月に正式に結果の公表がなされました (http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/jishin_sotei.htm)。

この結果、各振興局における最大建物被害数は表1のとおりとなりました。このような地震発生時に建築分野で迅速な対応を求められるものに「被災建築物応急危険度判定」があります。北海道建築士会所属の会員におかれましても、多くの方が「北海道震災建築物応急危険度判定士」に登録されていると思います。

応急危険度判定は、余震による人的被害を防ぐために地震発生後速やかに実施することが重要ですが、災害対応を行う各機関は、短時間で多くの災害対応業務を実施する必要があるため、災害時に不足する人的資源を最大限活用するため、事前に災害対応の計画を作成し少しでも時間のロスを無くすることが極めて重要となります。この地震被害想定の結果を活

用することで応急危険度判定活動を事前に計画することが可能になりました。

そこで道総研建築研究本部では、道からの委託により「北海道の想定地震に対応した応急危険度震前判定計画の策定」の研究に取り組み、地震建物被害の想定、判定士動員や資機材準備、連絡体制などを盛り込んだ市町村における「応急危険度震前判定計画」及び振興局における「応急危険度震前判定支援計画」の作成を進めることになりました。その第一段として、太平洋沖での大地震の発生が懸念される根室市及び根室振興局の協力のもとで、平成30年3月に「根室沖・釧路沖地震」に対応した震前計画を道内で初めて策定したところです。

この計画策定までの検討内容を以下に示します。

①想定地震による判定士派遣シミュレーション

北海道の地震被害想定結果(54種類)に基づき建物被害棟数から判定実施棟数を推計し、必要な判定士の人数を推計します。必要とされる判定士と実際の判定士の数を比較し、支援の必要数と全道レベルなのか全国レベルでの支援なのかといった支援の規模を推計します。根室沖・釧路沖地震における根室市で必要となる判定士は表2のとおりです。

表2 根室沖・釧路沖地震における必要判定士数

		夏	冬
震度			6.3
木造被害棟数 (揺れによる)	全壊		7
	半壊		90
非木造被害棟数 (揺れによる)	全壊		21
	半壊		106
判定棟数			406
1日当たり	班数	4	5
	判定士数	8	10
判定必要日数		7	9
述べ必要判定士数(3日交代)		24	30
支援受入人数		0	5

表1 想定地震による最大被害棟数予測結果

振興局	全壊	半壊	想定地震名
空知	8,371	7,112	沼田-砂川付近の断層帯(30_4)
石狩	22,634	42,160	月寒背斜に関する断層
後志	819	3,617	北海道留萌沖(走向N225°E)
胆振	1,711	2,906	石狩低地東縁断層帯南部(断層上端深さ3km、30_3)
日高	489	1,161	石狩低地東縁断層帯南部(断層上端深さ3km、30_2)
渡島	1,835	3,364	函館平野西縁断層帯(45_3)
檜山	767	1,818	北海道南西沖(No.2)
上川	1,322	1,892	富良野断層帯西部(45_3)
留萌	991	2,306	増毛山地東縁断層帯(30_2)
宗谷	2,280	1,935	北海道北西沖の地震(No.2)
オホーツク	1,656	2,713	標津断層帯(30_1)
十勝	3,336	7,888	十勝平野断層帯主部(45_2)
釧路	589	1,674	十勝沖の地震
根室	213	1,112	標津断層帯(45_5)

※地震名の括弧内は断層モデルの違いを指す

こうして、各市町村の結果を重ね合わせると振興局レベル及び全道レベルの支援量を推計することができます。

冬期間に地震が発生した場合の振興局及び全道の支援体制を推計した結果が表3になります。

表3 根室沖・釧路沖地震の支援体制

振興局	必要判定士数	地元公務員 対応不足人数	地元民間 対応不足人数	公務員応援 可能人数	応援体制	民間応援 可能人数
空知	0	0	0	66		79
石狩	0	0	0	324		707
後志	0	0	0	48		49
胆振	0	0	0	66		77
日高	0	0	0	17		18
渡島	0	0	0	60		67
檜山	0	0	0	16		17
上川	0	0	0	103		212
留萌	0	0	0	13		8
宗谷	0	0	0	13		32
オホーツク	12	6	4	44	支援地方本部応援	39
十勝	2	0	0	72	地元公務員完結	71
釧路	38	5	3	3	支援地方本部応援	0
根室	62	49	25	1	支援本部応援	0
合計	114	60	32	846		1,376

振興局応援体制

「地元公務員完結」:

管内全市町村が地元公務員判定士のみで対応可能

「支援地方本部応援」:

震度5強以下の市町村に在住する支援地方本部内の公務員判定士のみで応援可能

「支援本部応援」:

支援本部に応援要請

	必要判定士数	応援タイプ	応援人数	公務員応援要請数	民間応援要請数	道外要請数
道庁	114	公務員応援	32	32	0	0

応援タイプ

「公務員応援」:

震度5強以下の市町村に在住する全道の公務員判定士のみで応援可能

②判定計画の検討

必要な判定士数が明らかとなったことから、災害図上演習を行い、判定実施本部、判定拠点、判定実施区域、判定実施期間における1日ごとの判定棟数、判定士の輸送計画、地元判定士への連絡方法などを具体的に検討し計画に盛り込みます。

③応急危険度判定コーディネーター研修の実施

振興局や根室管内市町村職員の参加により応急危険度判定コーディネーター研修を開催し、作成した計画案の検証作業を行います。

このようにして、今回北海道が策定した「震前判定計画」の構成を表4に示します。具体的な計画策定を進めていく中で、行政と民間の応急危険度判定士との協力体制の構築が、重要なことが明らかになってきました。具体的には初動期における被害情報収集や支援判定士が入るまでの判定活動、応急危険度判定コーディネーターとしての行政支援などの役割です。現在、北海道建築士会では被災地支援委員会を中心に応急危険度判定活動に対して多くの事業を展開されています。地震時の被害を可能な限り減らすため、行政との相互の協力体制をより密接にしていけることが極めて重要であることから、北海道建築士会の会員各位の協力をお願いいたします。

表4 震前判定計画の構成

構成	内容
第1 目的	・震前判定計画の目的
第2 建物被害等の予測	・想定地震の決定及び被害想定結果の概要 ・地区(町丁目字界)別建物年代棟数
第3 実施本部等の設置	・実施本部長の任命
第4 判定実施要否の判断	・判定実施判断リスト(建物・地区名) ・判定実施要否に資する判定対象地区
第5 判定実施の宣言	・判定実施の連絡先一覧 ・実施本部のレイアウト案
第6 判定作業計画	・判定計画(様式A)の作成 ・必要判定士数のシミュレーション結果
第7 判定士の参集	・支援地方本部(振興局)への支援要請・判定士の受付(受付台帳) ・市町村内の判定士リスト・参集場所の地図
第8 判定資機材の準備	・支援地方本部(振興局)への不足資機材の支援要請・判定資機材備蓄リスト、輸送方法
第9 判定コーディネーター	・判定コーディネーター候補者名簿
第10 判定士等の輸送並びに宿泊所等の手配	・判定士の輸送ルート及び移動手段 ・市町村内の緊急輸送道路網図 ・宿泊場所の提供方法 ・判定士の食事や判定地区までの移動方法
第11 判定士等の受付	・名簿及び資機材の確認 ・支援本部に対する受付状況の報告
第12 判定の実施方法	・班編制の方法及び資機材の配布方法 ・判定区域割図の例及び判定時の注意事項 ・判定士に対するガイダンス及び集計方法
第13 判定結果取りまとめ	・当日集計表の作成 ・特に注意を要する建物の聴取及び対応策
第14 住民への広報等	・住民への実施結果の広報 ・相談窓口の設置

住教育出張講座事業 建築士・教諭向けセミナー in 紋別



女性委員会 住教育運営担当 後藤 朋恵 (札幌支部)

平成30年度建築士向け・教諭向けセミナーを7月21日(土)紋別で開催しました。

当初、申込者0人で中止も考えていたところ、紋別支部の働き掛けのおかげで11名の申し込みがあり、札幌からの車中、講義をシミュレーションしながら向かいました。参加者は紋別支部から9名、夕張高校家庭科教諭1名の参加で、講師は旭川支部の稜川さん、紋別支部の林さん、後藤の3人です。会場は紋別博物館の郷土学習室という設備の整った施設でした。

紋別支部事務局の方々の早くからの準備で、時間通りセミナーを開始することができました。役所の方が7割で民間の方が3割、若い方の参加も多く感じました。皆さん、お休みの日に半日も駆り出された感があるのかな?などと思っていましたが、実際講義が始まると真剣に聞いてくれて、間取り作りも真剣に取り組んで下さいました。途中から、夕張高校の家庭科教諭が参加して、同時進行で進めていきました。

3グループから一人ずつ発表をしていただくと、「75歳車いすで一人暮らし」を発表したプランに和気あいあいと盛り上がり、最後まで楽しい雰囲気で行われることが出来ました。最後に一言ずつ皆さんから感想をいただきました。

(建築士から)

- ・他の人のプランの発想が参考になった
- ・実際、紋別の仲間でセミナーをするシミュレーションを試みた
高校生の立場で考えてみた
- ・自分のプランが固まっているので高校生についていけるか不安

- ・自分勝手なプランになってしまった
 - ・他の人のプランに振り回された
 - ・高校生に説明出来るか不安になった。プランを考えるのは難しかった
 - ・楽しい、有意義な時間を過ごせた
 - ・高校生に伝えるのは難しいと思った
- (教諭から)**
- ・高校生は発想力、想像力がないので自由に考える事は苦手に思う
 - ・個室を持つという感覚がない子が多いと思う

教諭からは生徒に対するネガティブな感想もありましたが、今まで、道内各地(夕張も含めて)地域性はあっても生徒は個性や想像力を秘めていると感じていました。先生という立場の大人だけでなく外部から1日だけでも来た大人に、自分の可能性や表現を認められる事でその後の人生が変わるきっかけがあったりするのではないだろうか?という思いで出張講座に行ってきました。今年度は紋別支部近辺での出張講座予定はありませんが、セミナー参加の皆さんが講師としてご活躍できる機会があることを願っています。

住教育出張講座は道内の高校生を対象に6年目を迎えました。開催校は51校になります。今年度の開催予定は、標茶高校、士幌高校、函館水産高校、南幌高校です。この他に、東西アスファルト事業協同組合助成金事業と各支部事業で、数校開催予定です。開催の前にはお知らせいたしますので、近くの高校にぜひ授業参観してください。また、今年度から「実習セット」の販売をします。学校販売のほか支部でも購入いただけますので、支部活動の活性化にご利用ください。詳細は事務局へお問い合わせください。



真剣に講義を聞く参加者



間取り発表で楽しく盛り上がりました

バス通りからの外観



【コンセプト】

最北の町 稚内の南の地区に位置する。正面は北側（通称バス通りと言われる）18.0m道路、裏側は1.0m高く3階建の住宅がたっている。施主は内装工事業、奥さんは理容室の経営、型・色にこだわりがあった。1階には母が住む2世帯住宅。1回目の打合せの時、住宅の横にスチール製のカーポートを置きたいとの事。風除室とカーポートを少しずらし壁で一体とすることを提案しカーポートを木造で造る。2階のL・D・Kは、裏の3階建の住宅の窓から見下ろされる位置に有り横長の細窓を高くした。1階カーポートの上は将来バルコニーとする。

【所在地】 稚内市 【建築用途】 住宅 【建築年】 2018年4月



2階LDから見たリビング



1階母の部屋

特集

北海道建築士会 会員作品紹介 2018

本誌及びホームページにて募集した会員の皆さんの作品をご紹介します。
 今年は6回目を迎え、若手からベテラン、様々な分野の建物が集まりました。
 創意と技術、個性ある作品を紹介することで、会員の技術力向上、
 これをきっかけとしたコミュニケーションづくり～活動の活性化になればと思います。
 今後も募集する予定ですので皆さんの作品をお寄せください。
 なお、応募作品はホームページにも掲載していますのであわせてご覧ください。

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2018.09.No253 p4・5

Four Decks

設計：

富谷 洋介 (札幌支部)

富谷洋介建築設計

各空間が繋がりが広がる2階リビング



【コンセプト】

山裾の高台に建つ住宅の設計です。敷地特性から与えられた地面の高低差をまたぐように建物を配置したことで、建物内にも床に高低差あるユニークな空間が生まれ、その床々を半階分の階段が結びつけることで4層のスキップフロアが構成されました。1.5階位置にあるエントランスをくぐると1階・2階が一つながりにダイナミックに見渡せ、縦方向に次々に繋がる空間は家族の視線・動線に縦方向の動きを与えます。各所の窓からは借景を意識し、2階リビングからは街並み、遠景の山々、近景の公園の緑が望めます。多層のワンルーム空間は、人が動く事で視界が移り変わる楽しさを与えてくれる、この敷地にしか生まれなかった固有の空間になったと考えています。

【所在地】 札幌市 【建築用途】 住宅 【建築年】 2018年2月



外観



4層のスキップフロア空間

北光の家

設計：
杉山 友和 (札幌支部)

ARCHIVE

キッチンからスキップフロアの構成が見える



【コンセプト】

「北光の家」は、設計者の自邸として、狭小地の制限された敷地ボリュームを最大限に活かすため、スキップフロア形式を用い、生活空間が都市へ延長していくように建築内部で完結させず、内部と外部の関係性、また街並みに対する建築の在り方をより意識して設計を行った。外部は高耐食めっき鋼板厚板平張りによるシームレスなシルバーボックスの追求、内部は耐力壁となる針葉樹合板貼りをそのまま内部仕上げに用い、天井・床にも展開し仕上がりを統一させ、空間構成をより引き立たせるようにした。開口部をほぼ持たない外皮で覆うことでプライバシーを確保しながら、その内側ではスキップフロアによる一室空間の中に外部空間も取り入れ、狭小地の狭さを感じさせない広がりのある空間を作り出すことが出来た。

【所在地】
札幌市東区
【建築用途】
住宅
【建築年】
2016年3月



前面道路斜めからの外観



1階ホールから
上部3層吹抜けを見上げる

「Stair」 さっぽろ西野 さっぽろ西野二股整形外科

設計：
中井 寿也 (札幌支部)

一級建築士事務所
アトリエTARŌ

外観 夜



【コンセプト】

わたしは高低差のある敷地に建築を計画すると、素敵なることを知っていた。また、それはクリニックの計画では不都合になることも知っていた。外観デザインに際しては、シンプルかつ変化のあるリズムカルなデザインに、内部は動線など機能面はもとより院内の開放感やリラックスのできる内装など、医療者と患者がともに心地良く過ごせるデザインを心掛けた。高低差2Mを回避した患者に優しいクリニックとするには、敷地全体の綿密な計画が必要不可欠と判断。主に下方向からのアプローチでは雪害対策を考慮し、ロードヒーティングを敷設した庇のある階段を設置し、安全かつ安心なものとした。またそれは土留め擁壁と看板も兼ねたものだが、意外にも変化のあるアプローチ空間をもたらすこととなった。上方向からのアプローチでは隣接するバス停や薬局への段差を極力無くしているなど、多方向からのアプローチにも配慮はしている。

【所在地】
札幌市西区
【建築用途】
診療所
【建築年】
2017年4月



外観 昼



外観アプローチ夜

みなみ町皮膚科クリニック

設計・施工：
佐藤 栄司 (札幌支部)

ミサワホーム北海道(株)

受付・待合室



【コンセプト】

患者様の訴え、お悩みを同じ立場、同じ目線で理解し、最適な治療方法をご提案するための空間の提供。冬期間の落雪を考慮しシンプルな無落雪の外観とし全体は明るめのホワイトを基調としたデザイン。開放的で明るい受付と多目的「授乳室」・キッズスペース・ベビーベット対応の男女別トイレを設定し、お子様連れのお客様も安心の設計とした。待合い・中待合・診療室「6室」・レーザー室と中央の作業室から医師と看護師とスタッフが動き易い動線とした。内部は、美容治療もしているので清潔感のある明るめのインテリアとした。

【所在地】帯広市 【建築用途】診療所 【建築年】2017年4月



クリニック外観



レーザー室

北広島支部 全道大会へ行こう！

事務局長

松崎 隆志



今年、10月6日には、全道大会（土別大会）が開催されます。例年、北広島支部からは、5名程度全道大会へ参加していましたが、昨年の後志大会は3名の参加にとどまりました。北広島支部は、年々会員が減少し、今年は、とうとう会員数が13名となり、北海道建築士会の支部の中で一番会員数の少ない支部となりました。そのような状況の中、この全道大会の参加は、支部独自の活動がなかなかできていない中で、大きな目玉事業となっています。後志大会では、分科会において、農産物の集積場として使用された歴史ある倉庫群を再生利活用した「ニセコ中央倉庫群」を見学させてもらったり、基調講演では、「限界集落からの脱却」と題し、以前TBS系列の連続ドラマ「ナポレオンの村」のモデルとなったことで

も有名な高野誠鮮（たかの じょうせん）氏が、一地方公務員でありながら、失敗を恐れずに行なったブランド農作物を作る計画など、無理だといわれた限界集落からの脱却を見事に成功した講話を失敗談を交えながら、おもしろ楽しくお話をしていただき、あっという間のひと時を過ごさせていただきました。でも、全道大会の楽しみは、これだけではありません。全道大会を開催していただいた都市までの行き帰りの道中にもいろいろな楽しみが待っています。後志大会の時は、おいしい水めぐりと称し、京極の名水やニセコ名水甘露水などに行っておいしい水を飲んだり、山の幸（きのこ）を求めて、道の駅ニセコビュープラザや喜茂別のきのこ大国を訪れたりしました。さらに、ニセコと言えいろいろ有名な温泉がある中、どの温泉にしようかと迷いながらも1つの温泉を決め、露天風呂で時間を気にせずのんびりとお湯につかってきました。また、作家有島武郎

を紹介している有島記念館に立ち寄り、彼の生い立ちや作品、所有していた農場の足跡などを見てきました。見終わった後には、館内のブックカフェで、窓越しに羊蹄山を眺めながらおいしいコーヒーを飲んできました。このように、行き帰りの道中でも、あっちこっちと気ままに立ち寄りながら、その土地の歴史、特産にふれあうのもおつなものです。今年の土別大会も、いろいろな出会いを楽しみに、支部から多くの参加者を送りたいと思います。最後に、皆様も声を掛け合い、全道大会（土別大会）へ行こう。



有島記念館展望台からの羊蹄山

根室支部 第1回道東ブロック協議会

青年委員長

海老名 秀貴



平成30年4月21日、「第1回道東ブロック協議会」が根室市で開催され、19名の会員が参加した。この日は十勝地方や紋別市など、遠方の支部会員も多数参加し、改めて建築士の連携と親睦や意識の高揚を図ることの大切さを知ることとなった。この度の協議会、根室市で開催されたのは数年ぶりで、根室市温根元に所在する「根室市水産研究所」にて、ポンプ室や温室等の施設見学及び、ハナサキガニ・ヤナギダコ等の飼育研究説明を拝聴するはこびとなった。根室市は、安定した水産資源の確保を目的として、資源管理や増養殖事業を推進しており、この水産研究所では効率的でより安定した種苗生産の確立に取り組んでいる。我々、根室支部会員も初めてこの研究所に入館し、有意義な時間を過ごせたことは大変貴重な経験となった。はじめに、研究所の会議室にて、協議会会議を行い、今年度の事業計画、各支部の取り組みを報告した。

根室支部の独自事業として「応急危険度判定判断資料」を報告。これは、指定避難所の施設ごとに応急危険度判定の判断資料を作成し、判定士以外でも一定程度、被害状況の判断を可能とさせ、担当判定士の負担軽減も図ることができるといえるものである。「誰でもわかる建物の簡易危険度判定」を作成し、根室市における災害対応の一役に寄与することで、新規事業の長期的な存続と発展のために有効な手段であると報告した。また、子供を対象とした「仕事体験イベント」や「建築模型作り」など、未来の建築士候補を増やすPR活動を各支部で行い、建築の担い手の確保・育成についても取り上げた。次に、水産研究所の各設備の見学を行った。

海水取水ろ過装置は5基、水槽は大小さまざま50基ほどあり、その水槽にはハナサキガニ・ヤナギダコ・ホッカイエビ等が飼育されている。卵→孵化→脱皮を繰り返して漸く稚ガニとして成長するハナサキガニ、孵化直後のヤナギダコの稚ダコを見て感嘆の声を漏らす。研究所職員に熱心に質問する支部会員の姿も見受けられ、人工孵化、養殖、放流など一連の作業を見学することができ、基礎研究から飼育試験まで7か年にわたって取り組んできた種苗生産技術の高さに感銘を受けた。水産研究所見学を終え、懇親会に参加。他支部との情報交換、交流を深めて思うことは、さらなる会員数の増加に向けて努力を推し進め、建築士会の周知拡大を図りたい。



協議会会議風景



ハナサキガニの飼育を見学する会員たち

建築士法改正のうごき

建築士法改正のうごきが2例あります。
〈業務報酬基準（告示15号）の改正〉

建築物の設計業務及び工事監理業務が多様化・複雑化していることや、発注者の要求水準が高まったこと等に伴い「業務報酬基準（平成21年度国土交通省告示第15号）」の前提としている業務と現状の業務実態に乖離が生じていることから、国土交通省では、実態の業務量に応じた適正な報酬が得られるように、業務報酬基準の改正に向けた検討が行なわれています。

実態調査

設計業務及び工事監理業務の実態調査は、2月下旬から4月下旬に全国1,426建築士事務所を選定し実施され、658事務所より回答（回収率46.1%）でした。提供を得た6,077サンプルの内、重複回答・改修工事等のサンプルは除外し、5,802サンプルを対象となっています。

調査内容・結果

(1)事務所調査は①建築士事務所登録（所在地）②事務所の形態③専門事務所の場合の業務範囲④建設業許可の有無⑤職員数⑥設計・工事監理部門の総職員数と経理率の関係⑦直接人件費と直接経費の関係です。(2)業務量調査は単一・複合用途建築物別に①構造②階数③床面積です。事務所の形態は、総合事務所336、専門事務所322とほぼ拮抗しています。建設業許可の有無は、受けている90、受けていない568と86%の事務所は専業となっています。直接人件費に対する直接経費及び間接費の割合は約1.1となっています。

改正検討スケジュール

実態調査結果の集計・分析を5～6月に行い、分析結果に基づき改正告示案を作成、8月下旬中央建

築士審査会で告示改正案の審議をします。10月にはパブリックコメントを実施、12月上旬中央建築士審査会で告示改正案・技術的助言の審議、同月下旬以降に公布・発出になる予定です。告示15号の改正により、経営が安定し、より良い設計・監理環境になるように望みます。今後とも注目して行きましょう。

〈建築士資格制度の改善に関する共同提案〉

日本建築士事務所協会連合会、日本建築家協会、日本建築士会連合会の三会は、計画設計・施工及び維持管理に関する業務を安定的、持続的に遂行するために建築士の確保・育成は喫緊の課題であることから、建築士資格制度の改善に向けて共同提案をまとめ、国土交通省及び自民党建築設計議員連盟に説明し、議員立法を要請しました。同議連は取組みを明らかにしましたので、今後の改正作業を注視していきます。

建築士資格制度に係る提案

提案内容は、①建築士資格取得に係る実務要件の合理化…受験前に実務経験期間を課すのではなく、建築士名簿への登録にあたって一定の実務経験を課すこと。②登録に必要な実務経験の範囲の拡大…建築士試験の受験要件である実務経験の範囲の拡充を行う。また、建築に関する知識の習得及び技能の養成に必要な研修も実務経験の対象とする。③学科試験合格者が受験できる製図試験の回数制限の廃止等…学科試験に合格した者は一定の知識・能力を身につけたものと評価し、学科試験に合格した者は製図試験を受験できることとする。④試験内容の改善…CADによる試験の導入を検討する。

今後ともタイムリーに情報提供します。

相談役 吉木 隆（札幌支部）

平成30年度東西アスファルト事業協同組合からの助成を活用した委員会活動について

本年も東西アスファルト事業協同組合から200万円の助成が決まり、委員会活動に協賛・支援をしていただくことになりました。

東西アスファルト事業協同組合では平成26年度より事業エリアごとにその風土や地区性を踏まえた広告宣伝事業活動を実施しており、地区の主体性をもった活動が推進されているところです。

平成30年度の助成対象事業は次のとおりです。情報委員会では、情報の発信に見て楽しめる紙面づくりを目指し、魅力ある情報誌とするため「北海道建築士」のカラー化を推し進めます。(助成242千円)まちづくり委員会では、一般の方々を対象に景観まちづくりや魅力的な景観資源を守り育てていくための「景観まちづくり塾」を開催します。(同268千円)青年委員会では、この助成の発端となった「木で遊ぼう！マイはし作り体験」や未来を担う子供たちに

建築への興味を抱いてもらうための「建築のお仕事体験イベント」を実施します。(同437千円)女性委員会では、高校の家庭科授業でライフスタイルや住環境を考え、住まいへの関心を高めるきっかけづくりを行う「建築士による家庭科等住教育出張講座」を実施します。(同250千円)被災地応急支援委員会では、減災・防災を分かり易く解説した「減災・防災マニュアル」の作成と「応急危険度判定コーディネーター研修」を行います。(同270千円)ヘリテージマネージャー特別委員会では、特別講座を実施します。(同36.5千円)会員増強特別委員会では、建築士の新規合格者を対象に新建築士セミナー及び免許証明書の授与式を開催します。(同156.5千円)そして全道大会のまちづくり・女性・青年委員会が実施する各分科会を助成し(同340千円)、有効に活用して各委員会の事業活動を進めます。

道士会の動き

道本部の主な会議報告（8月）

- ◆第6回全国大会（北海道大会）実行委員会
〈開催日〉8月18日（土）
〈議題〉1）北海道大会実施計画
2）さいたま大会における次期開催地ア
ピール
- ◆第2回青年委員会
〈開催日〉8月25日（土）
〈議題〉1）青年サミット
2）全道大会（士別大会）C分科会
- ◆四役会議
〈開催日〉8月27日（月）
〈議題〉1）第4回理事会議案

道本部の主な行事予定（9月）

- 1日（土）まちづくり委員会WEB会議
- 7日（金）第4回理事会
- 8日（土）「住教育出張講座」インテリア作成講座
建築士向けセミナー（札幌市）
- 9日（日）二級建築士設計製図試験
- 19日（水）第3回あり方検討会議
- 29日（土）北海道建築士会応急危険度判定士机上訓練（釧路市）

関係機関等会議参加予定（9月）

- 28日 日本建築士会連合会正副会長会議（東京）
高野会長出席

CPD認定プログラム（8月認定）

- ◆第43回（一社）北海道建築士会全道大会
〈日程及び会場〉10月6日（土）12：00～18：00
士別市民文化センター他（士別市）
〈単位数〉各分科会 2単位
ミニ机上訓練 1単位
基調講演 1単位
- ◆女性建築士の集いin旭川
〈日程及び会場〉10月7日（日）10：00～11：50
北方建築総合研究所（旭川市）
〈単位数〉2単位
- ◆インテリアプラン作成講座「建築士向けセミナー」
〈日程及び会場〉9月8日（土）13：00～16：00
大五ビル2階会議室（札幌市）
〈単位数〉3単位
- ◆北海道建築士会震災建築物応急危険度判定士認定講習会
机上訓練
〈日程及び会場〉9月29日（土）14：00～16：30
釧路市生涯学習センターまなぼと
〈単位数〉3単位
- ◆平成30年度応急危険度判定士認定講習会
〈日程及び会場〉10月24日（水）13：30～15：30
北海道自治労会館（札幌市）他15会場
〈単位数〉2単位
- ◆平成30年度応急危険度判定机上訓練
〈日程及び会場〉11月7日（水）15：45～16：45
渡島総合振興局（函館市）他5会場
〈単位数〉1単位
- ◆建築生産入門講習会
〈日程及び会場〉11月15日（木）13：30～16：30
北海道第二水産ビル
〈単位数〉3単位
- ◆震災建築物応急危険度判定訓練
〈日程及び会場〉10月12日（金）13：00～15：50
室ガス文化センター
〈単位数〉3単位
〈上記プログラムに関する問合せ先〉
（一社）北海道建築士会 TEL 011-251-6076
- ◆防水技術セミナー2018
〈日程及び会場〉10月4日（木）14：00～17：00
（函館市）他3会場
〈単位数〉旭川会場2単位 他3会場各3単位
〈問合せ先〉東西アスファルト事業協同組合

講習会のご案内（詳細は同封の案内をご覧ください）

応急危険度判定士認定講習会

平成30年6月18日からの制度改正により、特定建築物調査員と建築施工管理技士が新たに認定要件に追加されました。
10月24日（水）札幌市 他15会場

防水技術セミナー2018

10月4日（木）函館市
10月23日（火）帯広市
11月7日（水）旭川市
11月14日（水）北見市

建築生産入門講習会

11月15日（木）札幌市

監理技術者講習

9月19日（水）札幌市
9月20日（木）函館市

編集後記

全道大会（士別大会）まで1ヶ月余りとなりました。本誌7月号に記載のとおり、士別支部さんの現会員数は44名とのことで、開催に向けて、この間、また、当日までの日々、たいへん苦勞されていることとお察しいたします。私たちにできるのは、士別に集い、北の建築士として『未来を語る』ことです。多くの皆様のご参加をよろしくお願ひいたします。さて、情報委員会は、今年もぶれることなく、号外を発行します。お楽しみ！！
情報委員会副委員長 森 勝利

情報委員会委員長／斎藤 勝哉
副委員長／早川 陽子・森 勝利・前田 繁
委員／熊谷 智・柏倉 晶憲
村山 賢司・片岡 哲二

北海道建築士 No.253号

印刷 平成30年8月／発行 平成30年9月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番